

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年46週 (11月2週 11/9~11/15)
2015年10月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、感染性胃腸炎、インフルエンザ病原体検出情報
定点医療機関コメント
感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。
結核(37)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、カルパネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、水痘(入院例に限る。)(1)、播種性クリプトコックス症(1)
2015年10月報
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症(図1)

46週の定点当たり報告数は1.42、45週217人 46週258人(うち0歳108人、1歳83人)で、2歳未満の報告数が全体の74.0%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

46週の定点当たり報告数は2.48、45週402人 46週452人(1.12倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

伝染性紅斑(図3)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。

46週の定点当たり報告数は0.63、45週150人 46週115人(0.77倍)です。

感染性胃腸炎

46週の定点当たり報告数は5.42、45週888人 46週987人(1.11倍)です。

インフルエンザ

46週の定点当たり報告数は0.28、45週60人 46週54人です。2015/2016シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09)及びB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】<速報>2015/16シーズン初めに保育園集団かぜ

から分離されたAH1pdm09亜型インフルエンザウイルス 愛知県

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/6016-pr4291.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf lu_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/inf lu/index.html>

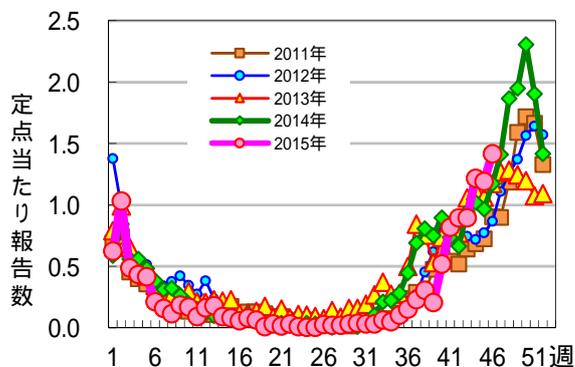


図1 RSウイルス感染症

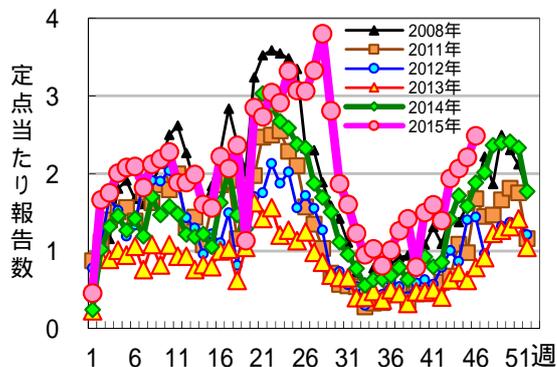


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

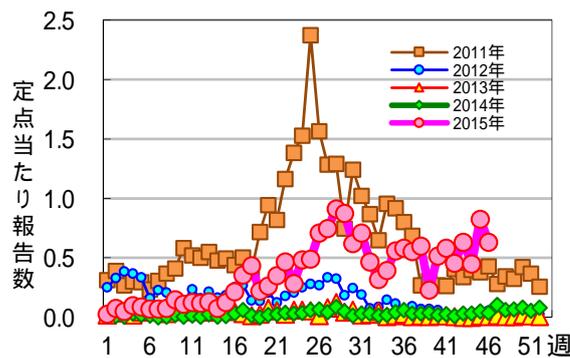


図3 伝染性紅斑

病原体検出情報 2015年疾患別ウイルス検出速報 (2015年11月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	189	99	50	11	21	33	27	5(192)	11(8)
CV-A6	-	41	3	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	8	26	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	17	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	3	-	-	-	-	3	-	-	(1)
CV-B3	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B4	-	1	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	1	-	-	-	-	3	-	-	-
E-11	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E-18	2	-	2	-	-	2	-	-	-
HPeV-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	-	4	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	1	(136)	-
FluB	-	-	-	-	-	-	-	(23)	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	2	-	1
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	25	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NV G I	8	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	51	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	3	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	5	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	1	4	-	-	-	-	-
Ad-3	5	-	-	3	1	-	-	(1)	-
Ad-4	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-6	1	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	2	-	-	-	-	-	(1)
HSV-1	-	-	-	-	2	-	-	(1)	-
検査中	19	10	2	3	-	3	2	1	(1)
陰性	64	22	14	1	17	19	22	(32)	10(5)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果、()内は2014/2015シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名(他の略名)

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、

FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB: B型インフルエンザウイルス、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、

HSV-1: 単純ヘルペスウイルス1型、NV: ノロウイルス、Reo-2: レオウイルス2型、

Rota A: ロタウイルスA、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

RS ウイルス感染症 2例

【一宮市 あさのこどもクリニック】

ノロウイルス感染症1歳、3歳(いずれも女)、
それぞれ1件ずつ

【稲沢市 野村小児科】

6歳女 カンピロバクター腸炎

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

RS 1名、手足口病 1名、プール熱 1名、
水痘 1名でした。水痘は2歳女で2回接種
済みでした。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症、感染性胃腸炎、伝染性紅斑の
流行続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

RSV 感染症再び増加中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

12歳女 19歳男 病原大腸菌O18検出

御兄妹です。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザはA型(高校生)、B型(保育
園児)1人ずつです。

【愛西市 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

今週もマイコプラズマ感染症が目立ちました。

手足口病 1例ありました。(発熱なし)

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

入院はRSVが多いです。

インフルエンザなし

【春日井市 春日井市民病院】

3歳男 カンピロバクター腸炎

胃腸炎 41例と多数

RS ウイルス 6例

溶連菌 16例

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性胃腸炎ではノロウイルスやカンピロ
バクターなどが目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

溶連菌感染散発

胃腸炎散発

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA 1名

【半田市 医療法人林医院】

4歳男 病原大腸菌O1(+)

胃腸炎増えています。

RS ウイルス感染症 4名

【大府市 まえはらこどもクリニック】

感染性胃腸炎が目立ちます。

カンピロバクター腸炎 1名(3歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

E. coli(O1) + カンピロ 14 歳女

StrepA(+) 5 歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ核酸 9 歳男

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

1 歳女 病原性大腸菌 O25 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

アデノ(咽頭) 2 歳男 4 歳男 3 歳女

マイコプラズマ 6 歳男 7 歳男

溶連菌感染症異様に多いです。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

マイコプラズマ肺炎 16 歳男 9 歳女

インフルエンザ B 型 1 名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

RSV 感染症、溶連菌感染症、感染性腸炎目立ちます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノウイルス感染症 1 歳女

カンピロバクター 5 歳女

【幸田町 とみた小児科】

父の職場でインフルエンザがあり、父が罹患して3日後、4日後に発症

インフルエンザ A 4 歳男 2 歳女

【西尾市 こどもクリニック宮地医院】

東三河地区

RS ウイルス感染症が増えています。RS ウイルス感染症で熱性けいれんを起こす児が時々います。

感染性胃腸炎も増えています。

流行性耳下腺炎の子が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

マイコプラズマ 9 歳男

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年11月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150521.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年46週報告数			2015年総計(1～46週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	17	6	2	616	148	150
豊田市	1		1	53	13	16
豊橋市	1			61	9	20
岡崎市	2	1	1	35	12	4
一宮	6	4	1	88	33	21
瀬戸	1		1	138	23	71
半田				35	10	3
春日井	4	1		80	15	20
豊川				34	14	3
津島	1			92	15	32
西尾				28	8	5
江南				52	10	24
新城				19	4	7
知多	1		1	43	11	13
清須	1			33	14	5
衣浦東部	2		1	75	20	22
合計	37	12	8	1,482	359	416

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊橋市	81歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	41歳	男	腸管外アメーバ症	性的接触	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	90歳	女	その他	国内	無
2	春日井	75歳	男	その他	国内	無

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	39歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	32歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	40歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	瀬戸	51歳	男	その他	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	不明	国内
2	江南	3歳	女	有	国内
3	衣浦東部	1歳	男	有	国内
4	衣浦東部	73歳	男	無	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	知多	29歳	男	不明	国内

播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域
1	津島	39歳	男	不明	国内

10月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2015年10月			2015年	2014年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	57 (10)	56 (18)	113 (28)	1,415 (399)	1,867 (531)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	10 (0)
腸管出血性大腸菌感染症	2 (0)	6 (1)	8 (1)	92 (20)	132 (30)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43) E型肝炎	0	0	0	7	1
A型肝炎	0	0	0	10	8
コクシジオイデス症	0	0	0	1	0
つつが虫病	0	0	0	0	2
デング熱	2	2	4	15	11
マラリア	0	0	0	2	1
レジオネラ症	8	0	8	91	61
五類 (22) アメーバ赤痢	3	0	3	51	68
ウイルス性肝炎	0	0	0	13	13
内訳 B型	0	0	0	9	12
その他	0	0	0	4	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	5	1	6	68	19
急性脳炎	0	1	1	25	18
クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	6	11
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	9	18
後天性免疫不全症候群	2	5	7	86	98
内訳 無症候性キャリア	1	5	6	54	65
AIDS	1	0	1	29	32
その他	0	0	0	3	1
ジアルジア症	0	1	1	4	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2	2	14	16
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2
侵襲性肺炎球菌感染症	7	2	9	127	122
水痘(入院例に限る。)*	0	0	0	13	10
梅毒	2	9	11	90	112
内訳 無症候	0	3	3	34	50
早期顕症	2	6	8	50	56
晚期顕症	0	0	0	6	6
播種性クリプトコックス症*	0	0	0	8	2
破傷風	0	0	0	8	4
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
風しん	0	0	0	13	21
麻しん	0	0	0	0	46
総 計	89	85	174	2,177	2,680

* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2015年10月			2015年累計		2014年総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
				合計	合計	合計	合計	
性感染症定点	性器クラミジア感染症	男	40	38	78	723	900	1,591
		女	34	19	53	535	691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	5	13	18	186	169	643
		女	27	10	37	317	474	
	尖圭コンジローマ	男	6	15	21	184	220	347
		女	7	2	9	90	127	
淋菌感染症	男	26	28	54	410	577	657	
	女	8	0	8	61	80		
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		60	16	76	820	1,090	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		7	0	7	78	59	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1	4	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0	

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年10月			2015年累計		2014年総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	0	1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年5月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。

